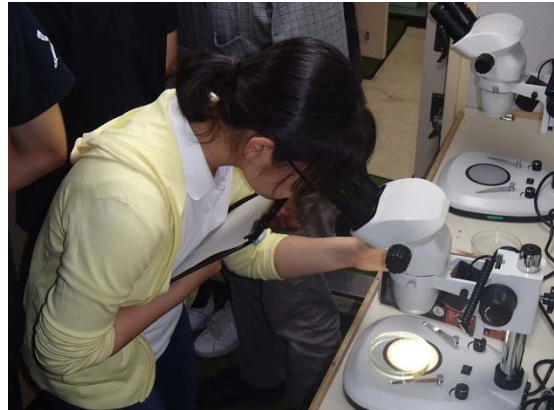


魚市場見学・解剖実習



早朝の大三島漁港・浦戸市場へ作業艇を利用して移動。水揚げや市場施設の見学、漁業関係者への聞き取りを通して地域漁業への理解を深めた。大三島では刺し網漁・釣り漁が代表的な漁法である。当日は、1隻しか水揚げがなく魚は少なかった。当市場には不漁や悪天候に備えたストック施設があり、その重要性も学ぶことが出来た。



船からの釣り・スーパーで購入した魚を豊潮丸に持ち帰り、解剖実習を行った。担当教員・T Aが丁寧に指導し内臓各器官の観測等を行った。

潮待ちの港町見学 (大崎下島・御手洗)



作業艇を利用して御手洗に上陸。御手洗は、江戸時代“潮待ち”で栄えた様子を今に伝える町である。実際に町並みを歩いて見学し、様々な歴史に触れることで、瀬戸内海が海運の面でも重要な役割を担っていた事を学んだ。

海洋観測実習







CTD、透明度板、プランクトンネット、**SM** 採泥器、ドレッジを用いた。同じ瀬戸内海であっても、潮流や周辺の環境による多様性がある事を学んだ。**SM** 採泥器・ドレッジ及びプランクトンネットを用いて採取した生物についてソーティング作業を行った。また、CTD など得られたデータとの比較や学生相互の議論を行い理解を深めた。

広島県水産海洋技術 センター見学（倉橋島）



広島県の水産研究施設であるセンター見学を通して、水産業における行政機関の役割、最先端の水産研究について理解を深めた。

その他実習中の風景



遭難訓練



早朝の宮浦港栈橋での体操と集合写真



ボートでの移動



修了証書授与